

大浦地域活性化センター ニュース

移住者さん

いらっしゃい!

赤野地区
岩橋さんご一家

大浦のみなさん
よろしく申し上げます



『海の近くで暮らす』という夢が実現できました。
これまで多くの方々に助けていただき感謝しています。
家族みんなで大浦での暮らしを楽しみたいです。
岩橋さん

どこで生きるか、誰と生きるか、何をして生きるか。
コロナ禍を経験して、都会の人たちの価値観や人生観が変わってきています。

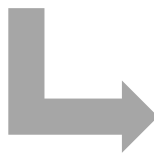
インターネットで場所を選ばずに仕事ができるこの時代、
海と山に囲まれ自然豊かで歴史情緒あふれる舞鶴に移住して、
心が通う便利で心豊かな田舎暮らしをしたいと希望する人が
増えています。

皆さんの集落にある空き家を市に登録して、移住者を受け
入れてみませんか？

地域に新しい風が吹き、子どもたちの声が戻ってくるかも
しれません。



岩橋家
改修前



岩橋家
改修後

岩橋家の大浦移住まで

- 2021年 10月 京都府が東京に設置する窓口に移住を相談
海の近くに住みたいという希望により、舞鶴市を紹介される
- 11月 舞鶴市の移住定住促進課が面談し、大浦地域を案内
- 12月 舞鶴市が西大浦を中心に条件に合う空き家を探すも見つからず
- 2022年 1月 大浦振興協議会夢プロジェクトが面談し、空き家の掘り起こしを開始
- 2月 大浦振興協議会夢プロジェクトが赤野地区の空き家を提案
- 3月 赤野区役員が面談し、移住が決定！
- 4月 東舞鶴に仮住まい、子どもたちは大浦小学校に入学
- 8月 空き家のリフォームが終わり、大浦での生活が始まる



岩橋さんの移住への熱意と、京都府→舞鶴市→大浦振興協議会→区の連携によって実現しました！

ごあいさつ 『風の人と土の人』



暑くて長い夏が終わり、心地よい秋風が感じられる季節になりました。暑さ寒さも彼岸までとは、よく言ったものです。

さて、表紙でお知らせしたとおり、今年も新たな移住者をお迎えしました。大浦会館にある放課後児童クラブでは、移住してきた子どもたちと地元の子供たちがすっかり仲良くなり、汗びしょりになってワイワイ遊んでいます。大浦小学校では、この少子化のおりにもかかわらず児童数が前年より1人増えたとお伺いし、嬉しい限りです。

外から来る人を「風の人」、地元の人を「土の人」と言い、混ざり合って「風土を生む」という言葉があります。これは玉井袈裟男氏（農学者・信州大学名誉教授）による風土舎宣言の一節です。もう少し紹介してみましょう。

～風は遠くから理想を含んでやってくるもの。土はそこにあって生命を生み出し育むもの。
君が風の人ならば、土に向かって吹く風になれ。君が土の人ならば、風をよびこむ土になれ。土は風の軽さを笑い、風は土の重さをさげすむのは愚かなことだ。
風は軽く涼やかに、土は重く温かく、和して文化を生むものを。～

今、大浦地域の人口は100年前（1919年国勢調査）4,602人の4割弱、1,756人（2020年国勢調査）にまで減っています。皆さんや皆さんの子孫が住み続けられる持続可能な地域にするために、また大浦の風土をより豊かにするために、移住者の受け入れは必要なことだと思います。

舞鶴市では、地域による移住者受入れに様々な支援を用意しており、活性化センターがその窓口となりますので、ぜひなんなりとご相談ください。

大浦地域活性化センター 所長 森下直哉

舞鶴市移住実績

【市がサポートした移住】

令和1年 15組37名（地区：小橋、西屋、東神崎、水間、八田、河原、上漆原など）

令和2年 19組38名（地区：佐波賀、八田、西神崎、大俣、水間、西方寺、池ノ内下など）

令和3年 14組30名（地区：平、大俣、下東、水間、多門院など）

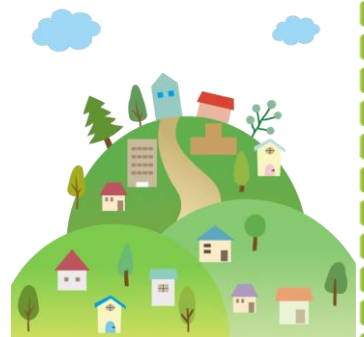
これまでの10年間 94組212名

【センター実績】

令和4年4月～9月末

移住決定：1組5名（赤野地区）

移住希望者の地域案内：9組



移住支援制度（大浦地域に適用されるもの）

移住者向け

【舞鶴市農村移住促進事業補助金】

対象者：舞鶴市移住促進区域空き家バンク制度を利用して
空き家を購入または賃借した人

内 容：空き家の改修工事費用を補助

補助額：市外からの移住者 180万円

【舞鶴市移住支援金】

対象者：東京23区に在住または通勤者が移住し、

①指定の法人に就職した場合

②テレワークで以前の仕事を続けた場合

補助額：単身世帯 60万円

2人以上世帯 100万円



大浦に住んでいる人・帰ってくる人向け

【舞鶴市子育て世帯住宅リフォーム等支援事業補助金】

対象者：舞鶴市内に住所があり、次のすべてに該当する人

(1)子どもが3人以上いる、または新たに3世代同居・近居をする

(2)子どもの親権者の年収が合わせて750万円未満

内 容：住宅の改修工事費用を補助

補助額：100万円（京都府外からの移住は200万円）



空家の所有者向け

【舞鶴市農村移住促進事業補助金】

対象者：空き家を舞鶴市移住促進区域空き家情報バンク制度に
登録し、移住者に売却または貸し付けを行なった人

内 容：家財道具の撤去費用を補助

補助額：10万円



移住受入れ地域向け

【舞鶴市農村移住促進事業補助金】

対象者：自治会や振興協議会などの地域の団体

内 容：地域の空き家の掘り起こしや、移住者受入れの経費を補助

補助額：空き家情報バンク制度への空き家登録1件につき 3万円

移住者の受入れ1件につき 1万円



アーティスト米づくり

9月3日(土)「稲刈り」^{in室牛}

おいしいお米ができました!



南野陽子さん

中孝介さん

宗本康兵さん

休日課長さん



初めて米作りに挑戦したアーティストのみなさん。室牛地区のみなさんのご協力により、とってもおいしいお米ができました。

9月3日の稲刈りは、台風が近づくつかの間の晴れの日。みなさん汗だくになりながら、地域の方々や大浦小学校地域放課後児童クラブの子どもたちと一緒に手刈りをし、稲木に干す作業をされました。

子どもたちが水路にいるイモリを南野陽子さんに渡して驚かせる場面もあり、村が笑い声に包まれました。

宗本康兵さん：『人が温かく、ただいまという気持ち。風景は音楽制作に影響しています。』

南野陽子さん：『初めての経験でお米作りの大変さが分かりました。この日差し、風、緑、すべてが素晴らしい!』

ひと時でも賑わいが戻って嬉しいです。
集落にとって、刺激や励みになります。
室牛地区のみなさん

暑い中お疲れ様でした!

秋・冬 大浦会館講座

新コース!

大浦探訪walking 【申込み】11月1日~

■大浦探訪ウォーキング■

11/23(水・祝) 赤野~多禰寺~自然文化園(もみじ園)を歩きます
山間の参詣道を歩き新旧名所を散策します(往復約8km)

楽しい企画が
いっぱいです!



新企画!

しあわせ冬ごもり講座 【申込み】11月1日~

※1つの講座から申込みます

- ①12月10日(土) 『はじめてのそば打ち めざせ! 手作り年越しそば』
- ②1月14日(土) 『コンロで焙煎コーヒー おうちカフェ気分♪』
- ③2月4日(土) 『冬に仕込む おいしい原木しいたけ作り』
- ④2月18日(土) 『テーブル茶道でおもてなし お抹茶をたててみよう!』
- ⑤3月25日(土) 『ホームセンターの材料でつくる みんなが集まるピザ窯づくり』



小学生!

書初めを練習しよう 【申込み】12月1日~

12月17日(土)・24日(土)全2回講座。冬休みの宿題の書初めを完成させよう!



~詳しくは広報まいづるをご覧ください~